

## Contents

---

### AIPPI Bureau

---

#### ・読者アンケート

e-News に対するフィードバックをお待ちしています。さまざまな項目について評価いただき、送信してください。皆様からの評価やご意見は、e-News の内容や体裁を向上させるために役立てさせていただきます。

(AIPPI General Secretariat)

(英語版詳細：[https://www.aippi.org/enews/2009/Feedback/feedback\\_final.html](https://www.aippi.org/enews/2009/Feedback/feedback_final.html))

#### ・ブエノスアイレスで採択された決議

今年のブエノスアイレス執行委員会の作業プログラムは 4 件の議題で構成されました。1 つめは 2007 年シンガポール執行委員会でも議題として扱ったもので、それ以外の 3 つは新たな課題です。執行委員会は、これら 4 つの議題すべてにおいて、将来における法制度のハーモナイゼーションの指針となる決議を採択することができました。今後は Bureau および各国部会を通して、これらの決議を関係当局や諸機関へ周知させ、活用されるようにします。決議の全文は AIPPI のウェブサイト ([www.aippi.org](http://www.aippi.org)) でご覧になれます。

(Jochen Böhling, Reporter General of AIPPI)

( 英 語 版 詳 細 :  
<http://www.aippi.org/enews/2009/edition10/Resolutions%20adopted%20in%20Buenos%20Aires.html>)

#### ・ブエノスアイレスでの会長会議および執行委員会の会合

ブエノスアイレスで開催された会長会議および執行委員会の年次会合における主要な決定事項について、概要を報告させていただきます。

(Michael J. Brunner, Secretary General of AIPPI)

( 英 語 版 詳 細 :  
<http://www.aippi.org/enews/2009/edition10/Presidents%20&%20ExCo%20meetings>.)

[html\)](#)

・自前の会議開催

2007年4月、Bureauは専門の会議運営会社に頼ることなく会議を開催できないかについて調査することに合意しました。諸問題への対応が難しさを増すなかで、会議を独力で開催する方向へ速やかに移行することになりましたが、ブエノスアイレスでの「自前」の会議は、初めてとしては大成功だったのではないかと自負しております。まだ多くの改善点があるものの、独自開催する能力を高めたことで望ましい方向へ進んでおり、世界各地で開催される多くの会議を成功させることができるだろうと確信しています。

*(Stephan Freischem, Deputy Secretary General of AIPPI)*

( 英 語 版 詳 細 :

<http://www.aippi.org/enews/2009/edition10/Homegrown%20meeting.html>)

・2009年AIPPIフォーラム&執行委員会の写真

[ここをクリックする](#)と、ブエノスアイレスにおけるフォーラム&執行委員会の様子をご覧になれます。

*(AIPPI General Secretariat)*

・評価アンケート

2009年10月にブエノスアイレスで開催されたAIPPIフォーラム&執行委員会についてのアンケートにご協力ください。

*(AIPPI General Secretariat)*

( 英 語 版 詳 細 :

[http://www.surveymonkey.com/s.aspx?sm=7FLDQwWOeXXO08n9QQku2A\\_3d\\_3d](http://www.surveymonkey.com/s.aspx?sm=7FLDQwWOeXXO08n9QQku2A_3d_3d))

・報告：AIPPIバルト海沿岸諸国会議－2009年9月2日～5日、タリン

2009年9月2日～5日、AIPPIエストニア部会のUrmas Kauler会長および組織委員会のEnn Urgas委員長による指揮の下、今年で8回目（隔年開催）となるバルト三国（エストニア、ラトビア、リトアニア）の各部会による会合が、エストニアの首都タリンで開催されました。

*(Thierry Mollet-Viéville – President of AIPPI, Stephan Freischem – Deputy Secretary General of AIPPI)*

( 英 語 版 詳 細 :

<http://www.aippi.org/enews/2009/edition10/Report%20on%20the%20AIPPI%20Baltic%20conference.html>)

---

## AIPPI Committee

---

- **Special Committee** のレポートをオンラインでご覧になれます。

決議の要点については今号で紹介していますが、決議の全文および詳細は AIPPI のウェブサイト ([www.aippi.org](http://www.aippi.org)) でご覧になれます。

(*Marcos Morales A, General Secretary of ACHIPI*)

(英語版詳細 : <https://www.aippi.org/?sel=questions&sub=specialcommittees>)

- ブエノスアイレス執行委員会に提出された **Communications Committee** の年次レポート

(*Esmé du Plessis, Chair of Communications Committee*)

( 英 語 版 詳 細 :

<http://www.aippi.org/enews/2009/edition10/Annual%20Report%20for%20the%20AIPPI%20ExCo%20Meeting.pdf>)

---

## 今後の行事

---

- **AIPPI ベルギー部会 100 周年—2009 年 12 月 10 日、ベルギー**

AIPPI ベルギー部会の 100 周年記念についてお知らせします。オンラインでの参加登録および詳細については、ウェブサイト ([www.aippi.be](http://www.aippi.be)) をご覧ください。

(*Florent Gevers, President of AIPPI Belgium*)

- **第 42 回国際総会—2010 年 10 月 3 日～6 日、パリ**

2010 年 10 月 3 日～6 日にパリで開催される AIPPI 国際総会へ参加することにはどのような意義があるのでしょうか。その意義のひとつは、世界が経済危機に見舞われ、そこから抜け出す段階へ来ているということです。

(*Thierry Sueur, President of AIPPI France*)

(英語版詳細 : <http://www.aippi.org/enews/2009/edition10/Congress.html>)

知的財産に関する会議の開催情報については、[AIPPI Master Calendar](#) をご覧ください。

---

## ブエノスアイレスフォーラムのレポート

---

### ・Second Life—ブランド所有者に対する法律面での影響

情報技術に関するリサーチおよびコンサルティングを提供しているガートナー社によると、インターネットを積極的に利用するユーザーの80%が2011年末までに、何らかの形で仮想世界へ参加するとされています。この予想が示されたのは、Second Lifeが大々的に報じられていた2007年末であり、その後、メディアの注目はなくなりましたが、Second Lifeあるいは広義での仮想世界が廃れてしまったわけではありません。仮想世界が日常生活やビジネス界と統合される速度は低下したかもしれませんが、近い将来、私たちすべてに影響があるのは確かでしょう。

(*Marieke Westgeest, Kate Swaine*)

( 英 語 版 詳 細 :

<http://www.aippi.org/enews/2009/edition10/Second%20Life%20Article2.pdf>)

### ・ブラジルにおける進歩性要件

1996年に制定された現行のブラジル特許商標法は、TRIPS協定（知的所有権の貿易関連の側面に関する協定）の要件に沿っています。ブラジルにおける特許要件には、新規性、進歩性および産業上の利用可能性の要件があり、1996年特許法の第8条で定められています。

(*Gabriel F. Leonardos*)

( 英 語 版 詳 細 :

<http://www.aippi.org/enews/2009/edition10/Inventive%20Step%20in%20Brazil.pdf>)

---

## 各国部会

---

### ・類似する商標とドメイン名をめぐる問題

有名であるか否かにかかわらず、商標は商品やサービスを識別する手段として重要ですが、同じように重要なのがその広告機能です。つまり、商標やサービスマークは識別機能を持つだけでなく、対象となる商品やサービスの購入を促す働きもあるのです。

(*Renzo Scavia R., AIPPI Peru*)

( 英 語 版 詳 細 :

<http://www.aippi.org/enews/2009/edition10/Conflicts%20between%20trademarks%20and%20domain%20names.html>)

---

## 政府機関 & NGO

---

### ・WIPO によるリスボン制度に関する調査（原産地名称）

リスボン制度（原産地名称）の整備に関する WIPO 作業部会は、特に「原産地名称の保護及び国際登録に関するリスボン協定」の原則と目的を維持しつつ、リスボン制度を利用者および将来の加盟者にとってさらに魅力的なものにするため、同制度をどのようにして改善したらよいかを見極めるための調査を、WIPO 国際事務局が実施すべきであるという点で合意しました。WIPO 国際事務局は、リスボン協定の締約国、非締約国、関係する政府間機関、NGO、関連業界などに対し、改善のための提案を求めています。

(<http://www.wipo.int/lisbon/en/feedback.html> より抜粋)

---

## フィードバック

---

会員のみなさんからのご意見・ご感想をお待ちしております。e-News あるいは AIPPI に関して気づいた点などありましたら、[enews@aippi.org](mailto:enews@aippi.org) までメールでお寄せください。

---

## 寄稿のお願い

---

e-News に掲載する記事を読者のみなさんから募集しています。寄稿の際には、e-News の 編 集 ポ リ シ ー / ガ イ ド ラ イ ン ([http://www.aippi.org/enews/2008/edition05/editorial\\_policy\\_guidelines.html](http://www.aippi.org/enews/2008/edition05/editorial_policy_guidelines.html)) に準拠していただくようお願いします。

e-News は、AIPPI（国際知的財産保護協会）が隔月で出版するニュースレターです。  
AIPPI General Secretariat | Toedistrasse 16 | CH-8027 Zurich | Tel. +41 44 280 58 80 |  
Fax +41 44 280 58 85 | [enews@aippi.org](mailto:enews@aippi.org) | [www.aippi.org](http://www.aippi.org)

今号の作成者：AIPPI General Secretariat、Ching-Ying Chen

作成協力：AIPPI Deputy Secretary General、Stephan Freischem

編集／Communications Committee：

Chair：Esmé du Plessis

Members：

Alan J. Kasper

Rainer Beetz

Sun-Ryung Kim

Charters J. Macdonald-Brown

Raffaella Arista

Martin Michaus

Teresa O'Connor

Hiroyuki Suda

Carolyn Harris

Juan Carlos Cuesta Quintero

Gastón Richelet

Calab Gabriel

-----  
免責事項：

AIPPI は伝達する情報の正確性を期すべくあらゆる努力をしていますが、これらの情報は、特定の資格を有する専門家の助言に代わるものとみなされるものではありません。

AIPPI は、インタビューで表明された意見やウェブの外部リンクを介して提供される情報に対しては一切責任を負いません。